

癒着防止材の 選択、使用法と今後求められる製品像



●日 時:2024年12月12日(木) 10:00~15:30 ●聴講料:1名につき 55,000円(消費税込、資料付)
●会 場:Zoomを使用したLive配信セミナーです。 [1社2名以上同時申込の場合のみ1名につき49,500円(税込)]
勤務先やご自宅のパソコンでご視聴ください。 [大学、公的機関、医療機関の方には割引制度(アカデミック価格)があります。]

1. 大腸外科における 癒着防止剤の使い分けと使用法

東邦大学医療センター大橋病院 外科
長尾 さやか 氏

【10:00-11:10】
【講座主旨】 大腸外科領域では主に大腸癌に対する治療をおこないますが、治療の中心は手術療法です。手術後の合併症として、癒着による腸閉塞が挙げられます。そもそも癒着は生体のもつ修復機能であり、癒着を0にすることは不可能です。手術時に、適切に癒着防止剤を利用することで、術後のリスクを低減させることが望ましいと考えます。今回は、大腸外科領域における癒着防止剤の位置づけと使用方法について述べさせていただきます。

- 1. 癒着について
生体内に生じる癒着のメカニズムについて
- 2. 本邦で使用可能な癒着防止剤について
①癒着防止剤の種類 ②癒着防止剤の特徴
③癒着防止剤の使い分け
- 3. 大腸外科における癒着防止剤
術式、部位別の癒着防止剤の実際の使用法

2. 肝胆膵外科Update : 各種癒着防止材の選択と使用法

東京大学医学部附属病院 肝胆膵・人工臓器移植外科
講師・医局長 高本 健史 氏

【講座主旨】 肝胆膵領域の手術でも、腹腔鏡・ロボット手術などの低侵襲治療が全体の半数近くまで進み、急速に進んでいます。特に肝腫瘍は、再手術の効果が低い疾患が多く、癒着防止材のニーズが高い分野です。最新の開腹・低侵襲手術動画を含めて、実際の臨床現場を紹介し、今のニーズを整理します。さらに近未来医療の展望から今後求められる癒着防止材についてのアイデアを紹介いたします。

- 1. 肝胆膵臓器の役割と考え方：消化器系解剖のおさらい
- 2. 肝胆膵疾患の罹患率と展望：増えている病気・減りそうな病気
- 3. 肝胆膵疾患の治療の潮流：
根治率向上へのストラテジーUpdate
- 4. 手術の実際①：開腹手術
- 5. 手術の実際②：腹腔鏡手術
- 6. 手術の実際③：ロボット手術
- 7. 現場の声を聞いて！各癒着防止材の選択と使用法
- 8. 近未来医療①：手術はこの10年で劇的に変わった
- 9. 近未来医療②：人工知能は手術をどう変えるか

3. 婦人科内視鏡手術における 癒着防止材の使用感

岩手医科大学 産婦人科 特任講師
永沢 崇幸 氏

【13:15-14:15】
【講座主旨】 近年、婦人科領域において低侵襲手術の普及が目覚ましく、今後もその流れは加速していくことが予想される。低侵襲手術においても術後癒着の防止は癒着関連合併症予防の観点から重要であり、その発症はせっかくの低侵襲手術の恩恵を損ねる可能性がある。術後癒着の予防には癒着防止剤の使用が有用であるが、癒着防止剤にはフィルム状、シート状、スプレー状などの形状があり、それぞれに利点・欠点があり使い勝手は異なる。本講座では、各種癒着防止剤の使用感について、演者の経験を基に解説する。フィルム状癒着防止剤は、貼付後の位置ずれが少ないという利点がある一方で、腹腔内への挿入や貼付の手法がやや難しいため、使用頻度が少ない印象がある。今回はフィルム状癒着防止剤に特に焦点を当て、挿入ガイド器具を工夫して用いることで腹腔内への挿入から貼付までを簡便かつスムーズに行う方法を実際の動画を交えて解説する。

- ・婦人科領域の低侵襲手術の位置づけ
- ・婦人科領域の低侵襲手術で使用される癒着防止剤
- ・癒着防止剤のそれぞれ利点・欠点、使い勝手
- ・フィルム状癒着防止剤の貼付手法の工夫

4. ウイルス感染リスクが低い癒着防止材

【14:30-15:30】 (株)BMG 代表取締役社長 玄 丞 氏

【講座主旨】 腹腔鏡手術により術後の癒着は減少したが、癒着による合併症は依然として大きな問題である。我々は、腹腔鏡手術時に適用可能な新規の粉末状癒着防止材の癒着防止効果を検討した。新規粉末癒着防止材LYDEXはアルデヒドデキストランとε-ポリ(L-リジン)から構成されている。市販の癒着防止材と動物実験にて効果効果と比較検討した。新規癒着防止材は術後の腹腔内癒着軽減に有効であり、市販の癒着防止材と同等以上の効果を示した。

- 1. はじめに：
- 2. 国内外の類似研究の現状
- 3. 新規癒着防止材の特徴：
(1) 胸膜欠損部位からの空気漏れ防止(呼吸器外科領域での効果の確認)
(2) 部分肝切除時の切除部位からのoozing止め
(3) 腎部分切除時のLYDEXの止血など使用の可能性について
- 4. 生体内分解吸収性の癒着防止材
(1) 手術後の心前面と胸骨との癒着防止
(2) 癒着モデルにおける臓器等の癒着防止
(3) 術後の胸膜癒着を防止する新規パウダー式生体分解性高分子製剤

●申込方法

- 1. 申込書が届き次第、請求書・聴講券・会場案内図をお送りいたします。
- 2. お申し込み後はキャンセルできません。
受講料は返金いたしませんので、ご都合の悪い場合は代理の方がご出席ください。

セミナー申込書

「癒着防止材」セミナー No.412103 12/12

- ・申込書に必要事項をご記入の上、FAX(03-5436-7745)にてお申込みください。
- ・ホームページからも申込できます。https://www.gijutu.co.jp/

会社名	事業所・事業部		
住所	〒		
TEL	FAX		
	所属部課	氏名(フリガナ)	E-mail
受講者1			
受講者2			
今後ご希望しない案内方法に×印をしてください(現在案内が届いている方も再度ご指示ください) [郵送(宅配便)・FAX・e-mail]			
個人情報の利用目的			
<ul style="list-style-type: none"> ・セミナーの受付、事務処理、アフターサービスのため ・今後の新商品、新サービスに関するご案内のため ・セミナー開催、運営のため講師へもお知らせいたします 			